

【渚滑川】洪水氾濫を未然に防ぐ対策・避難時間の確保に資するハード対策の実施

- ◆ 渚滑川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削と浸透対策を実施。
- ◆ また、洪水による越水破堤時における避難時間を少しでも長く確保するため、堤防天端保護工を実施。
- ◆ 次年度以降も継続的に実施。

ハード対策の様子



河道掘削 (渚滑右岸地区)



浸透対策 (下渚滑左岸地区)



危機管理型ハード対策 概要図
＜渚滑川＞

凡例
■ 天端の保護
■ 裏法尻の補強



堤防天端の保護 (中渚滑右岸地区)



◆ 渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

(参考) 網走開建HP: <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr00000000cf.html>